

文化・芸術



「春雪」

1980年ごろ 紙本彩色
45・8cm×61・6cm

上村松篁 (1902~2001年)

近現代の京都画壇に 1983年文化功労者
おいて格調高い花鳥画 となり、84年には文化
を描き続けた上村松篁 勲章を受章します。
は日本画家・上村松園 鳥を愛した松篁は徹
の長男として京都市内 底した観察に基づき、
に生まれます。京都市 生き生きとした表情を
立絵画専門学校に入 持つ、品格ある花鳥画
学、在学中から第3回 を描きました。本作は
帝展で初入選するな きらめく白銀の画面に
ど、早くから実力を発 鳥が1羽、鮮やかな才
揮。その後も克明なり レンジ色が引き立って
リズムの描写を見せ います。雪の降り積も
ます。戦後は日本画の った静かな世界で、今
革新を目指して創造美 しがた鳥が飛び降りた
術協会を結成。母校の のでしよう、ササから
京都市立絵画専門学校 雪がはらはらとこぼれ
(後の京都市立美術大 ました。冬の静寂と生
学、現京都市立芸術大 き物の存在感を示す動
学)の教授となり、後進 きの対比が見事です。
の育成に携わります。

(大谷)

《名画の扉》

大川美術館日本画コレクションから